

# シリアにおける クルド民族主義政党・政治組織(2)

青山弘之

はじめに

I 活動概史

II 政党・政治組織(50音順)(以上,前号)

III 政治同盟(50音順)(以下,本号)

結びにかえて

索引(人名,組織名)

## III 政治同盟(50音順)

### 1. 基本的自由・人権擁護国民調整委員会

アラビア語名:

Lajna al-Tansīq al-Waṭanī li-l-Difā' 'an al-Hurriyāt al-Asāsiya wa Ḥuqūq al-Insān

2005年1月17日に,国民民主連合(al-Tajammu' al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī),市民社会再生諸委員会(Lijān Ihyā' al-Mujtama' al-Madani),ジャマール・アタースイー民主的対話会議(Muntadā Jamāl al-Atāsī li-l-Ḥiwār al-Dīmuqrāṭī),シリア人権協会(Jam'iya Ḥuqūq al-Insān fī Sūriya),シリア民主的諸自由・人権擁護諸委員会(Lijān al-Difā' 'an al-Hurriyāt al-Dīmuqrāṭiyya wa Ḥuqūq al-Insān fī Sūriyā),アラブ人権機構(al-Munazzama al-'Arabīya li-Ḥuqūq al-Insān)シリア支部(Far' Sūriyā),共産主義行動党(Hizb al-'Amal al-Shuyū'i),シリア・クルド民主同盟\*( \*は第II節(前号)および第III節の対象項目において解説した政党・政治組織,政治

同盟。以下同じ),シリア・クルド民主戦線\*,シリア・クルド・イエキーティー党\*,シリア・クルド人民連合党\*,国籍剥奪者権利擁護委員会(Lajna al-Difā' 'an Ḥuqūq al-Mujarradīn min al-Jinsiya)が結成した組織。市民社会が存在しない戒厳令下のシリアの「国民的・民主的改革」をめざし,以下8点の実現に重点を置く。(1)カーミシュリー事件での逮捕者を含むすべての政治犯・言論犯の釈放,政治的理由による逮捕と国外追放の停止,(2)例外的法廷において剥奪された市民権の回復と補償,(3)物理的,心理的な拷問の禁止,(4)人権に関する国際的な諸条約の順守,(5)1962年の統計によって剥奪されたクルド人の国籍回復,(6)クルド問題をはじめとするマイノリティ問題の民主的解決,(7)時代に即した政党法・結社法の制定,(8)通信の自由,報道の自由,出版の自由などを保障する新たな法の制定[Lajna al-Tansīq al-Waṭanī li-l-Difā' 'an al-Hurriyāt al-Asāsiya wa Ḥuqūq al-Insān 2005]

### 2. シリア・クルド民主戦線

アラビア語名:

al-Jabha al-Dīmuqrāṭiyya al-Kurdiyya fī Sūriyā

クルド語名:

Bera Demokrat a Kurd li Sūriyê (BDK)

2001年3月25日に発足した政治同盟。加盟党

派は、シリア・クルド民主党(アル・パルティー)\*ムハンマド・ナズィール・ムスタファー(Muḥammad Nadhīr Muṣṭafā)派、シリア・クルド左派党\*ハイルッディーン・イブラーヒーム(Khayr al-Dīn Ibrāhīm)派、シリア・クルド進歩民主党\*アズィーズ・ダーウド('Azīz Dāwud)派、シリア・クルド国民民主党\*[*al-Dīmuqrāṭī* 2002; Ibrāhīm n.d.]、機関紙『戦線新聞』(*Jarīda al-Jabha*)を刊行。

シリア・クルド民主戦線はシリア・クルド民主同盟\*を「加盟政党の狭量な利益に奉仕する組織へと成り下がった」[*al-Dīmuqrāṭī* 2002]と批判し、ライバル視している。だがクルド民族主義政党の再統一ではなく、統一的な「クルド国民運動」(*al-ḥaraka al-waṭanīya al-kurdīya*)の展開を基本目標に掲げ、民主的方法によるクルド問題の解決をめざしている点で、シリア・クルド民主同盟と共通している。

2003年1月、シリアのクルド民族主義勢力に「利己的な立場とは無縁の[クルド人]統一[候補]リスト[の作成]に……合意するための行動」[*Jarīda al-Jabha* 2003]を呼びかけ、第8期人民議会選挙(2003年3月2～3日投票)への参戦の意思を明らかにしたシリア・クルド民主戦線は、2月17日、他のクルド民族主義政党とともにシリアにおけるすべてのクルド政党\*の名で共同声明を発表し、ハサカ県選挙区で統一候補を擁立する合意に達したことを明らかにした。だがクルド民族主義政党どうしの対立でこの試みが失敗に終わると、2月23日、シリア・クルド民主同盟と共同声明を発表し、選挙での勝算がないという理由で、立候補と投票のボイコットを宣言した。

その後、シリア・クルド民主戦線 および

その加盟党派 は2003年12月10日の首相府前でのデモ(前号注9を参照)などに参加する一方、2005年1月には、シリアの主要な反政府組織とともに基本的自由・人権擁護国民調整委員会\*を結成した。

### 3. シリア・クルド民主同盟

アラビア語名:

al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdi fī Sūriya

クルド語名:

Hevbendîya Demokrat a Kurd li Sûriyê

1992年2月1日に発足したシリア初のクルド民族主義政党による政治同盟[*Şawt al-Akrād* 2002a]注1)。発足当初の加盟党派は、シリア・クルド民主党(アル・パルティー)\*カマール・ダルウィーシュ(Kamāl Darwīsh)派(現ナスルッディーン・イブラーヒーム[Naṣr al-Dīn Ibrāhīm]派)、シリア・クルド左派党\*ムハンマド・シャイフムース(Muḥammad Shaykhmūs)派(現ハイルッディーン・ムラード[Khayr al-Dīn Murād]派)、クルド・シリア民主党\*、シリア・クルド人民連合党\*。その後94年にシリア・クルド進歩民主党\*アブドゥルハミード・ダルウィーシュ('Abd al-Ḥamīd Darwīsh)派が、99年にシリア・クルド民主統一党(イエキーティー)\*が加盟した[*Akhbār al-Sharq* 2002]。機関紙『アル=タハールフ』(*al-Taḥāluf*)を刊行。

シリア・クルド民主同盟はシリアの政情に対応し得ないクルド民族主義勢力の「病んだ分裂状態」の克服をめざしてはいるが、クルド民族主義政党の再統一ではなく、統一的な「クルド国民運動」の展開を基本路線として掲げ、そのための政党間の現実的な協力関係の構築を推奨している[*Şawt al-Akrād* 2002b]。

加盟政党のなかで指導的な役割を担っているのは、シリア・クルド進歩民主党アブドゥルハミード・ダルウィーシュ派とシリア・クルド民主統一党(イエキーティー)である。シリア・クルド進歩民主党アブドゥルハミード・ダルウィーシュ派では、アブドゥルハミード・ダルウィーシュ書記長とファイサル・ユースフ(Fayṣal Yūsuf)中央委員会メンバーがそれぞれ、同盟の総合会議(al-Majlis al-‘Āmm)国民関係委員会(Lajna al-‘Alāqāt al-Waṭanīya)の委員長とメンバーを務める。また、シリア・クルド民主統一党(イエキーティー)では、イスマーイール・ウマル(別名イスマーイール・アムウ[Isma‘īl ‘Amw, クルド語での表記はİsmail Emo])書記長とザルダースクト・ムハンマド(Zardāshṭ Muḥammad)政治委員会メンバーがそれぞれ、総合会議クルド関係委員会(Lajna al-‘Alāqāt al-Kurdiya)の委員長とメンバーを務める[Amude.net 2003]

バッシュアール・アサド(Bashshār al-Asad)政権発足当初、シリア・クルド民主同盟は“上からの改革”に準じたかたちでの活動をめざした。2001年8月下旬、同盟の代表3名(注<sup>2</sup>)がアラブ社会主義バアス党(Hizb al-Ba‘th al-‘Arabī al-Ishtirākī)幹部と会見し、民主的生活の活性化、政治犯・言論犯の釈放、「例外的統計」結果の廃止、すべての差別的措置の廃止、クルド人の文化、言語、権利の保障などを要求するとともに[al-Ḥayāt 2001; Ḥamīdī 2001]注<sup>3</sup>、2002年11月22日にはカーミシュリー市で「円卓会議」を主催し、シリアにおけるクルド人問題や民主化問題などを議論、漸進的な改革を追求しようとした[Amude.net 2002]注<sup>4</sup>。

第8期人民議会選挙(2003年3月2～3日投票)ではこうした政権寄りの姿勢を若干修正し、他

のクルド民族主義政党とともに議席獲得をめざした。2003年2月6日、シリア・クルド民主同盟総合会議は、ハサカ県選挙区、アレppo市選挙区、アレppo県諸地域選挙区などでの候補者擁立を決定し[al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī fī Sūriyā-al-Majlis al-‘Āmm 2003]、2月17日、他のクルド民族主義政党とともにシリアにおけるすべてのクルド政党\*の名で共同声明を発表、ハサカ県選挙区で統一候補を擁立する合意に達したことを明らかにした。だが同盟内で候補者選を独断的に進めるシリア・クルド民主統一党(イエキーティー)(前号注26を参照)にシリア・クルド左派党ハイルッディーン・ムラード派が反発したことで、選挙協力は困難を極め、2月23日、シリア・クルド民主同盟はシリア・クルド民主戦線\*と共同声明を発表し、選挙での勝算がないという理由で、立候補と投票のボイコットを宣言した[al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī fī Sūriyā and al-Jabha al-Dīmuqrāṭīya al-Kurdiya fī Sūriyā 2003]。同様のボイコット宣言は、2003年6月に実施された統一地方選挙でも行なわれた[al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī fī Sūriyā-al-Lajna-al-‘Ulyā 2003]

その後、シリア・クルド民主同盟 および加盟党派 は2003年12月10日の首相府前でデモ(前号注9を参照)などに参加する一方、2005年1月にはシリアの主要な反政府組織とともに基本的自由・人権擁護国民調整委員会\*を結成した。

シリア・クルド民主同盟はこれまで度々、政権との関係や活動内容をめぐる内部対立を経験しており、2002年6月にはシリア・クルド人民連合党が、また2003年12月にはクルド・シリア民主党が脱退した。現在同盟は、シリア・クル

ド民主党(アル・パルティー)ナスルッディーン・イブラーヒーム派, シリア・クルド左派党ハイルッディーン・ムラード派, シリア・クルド進歩民主党アブドゥルハミード・ダルウィーシュ派, シリア・クルド民主統一党(イエキーティ)の4党派によって構成されている。

#### 4. シリアにおけるすべてのクルド政党 アラビア語名:

Majmū' al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā

クルド民族主義政党・政治組織が統一見解を示す際に用いる名称。この名が使われるようになった当初(2003年)は, シリア・クルド民主同盟\*加盟4党派, シリア・クルド民主戦線\*加盟4党派, クルド・シリア民主党\*, シリア・クルド人民連合党\*, シリア・クルド・イエキーティ党\*の11党派からなっていた。だが2004年5月末にクルド民族主義政党の政治活動が禁止された直後, シリア民主連合党\*が加わり, 現在活動しているクルド民族主義政党のうち, シリア国内に活動拠点を持たないシリア・クルディスタン民主パルティー\*とクルド・シリア民主合意\*を除く12の党派が名を連ねるにいたった[Efrin.net 2004; al-Hayāt 2004]

シリアにおけるすべてのクルド政党の名で最初に共同声明が発表されたのは第8期人民議会選挙(2003年3月2~3日投票)を間近に控えた2003年2月17日であった。この声明において, クルド民族主義政党・政治組織は, ハサカ県選挙区で無所属に割り当てられた4議席を獲得するため, 統一候補を擁立する合意に達したことを明らかにした[Majmū' al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā 2003]。だが2月22日と23日に, シリア・クルド人民連合党, シリア・クルド・イエキ

ーティ党, シリア・クルド民主同盟, シリア・クルド民主戦線が相次いで立候補と投票のボイコットを決定したことで, この合意は実行されることなく終わった。

その後, 2004年3月12日にカーミシュリー事件が発生すると, シリアにおけるすべてのクルド政党は連日声明を発表し, 事件の真相究明, 事件発生を防止できなかった政府高官・地方自治体関係者の処罰, 犠牲者家族への補償, 市民への無差別発砲・逮捕の停止, 軍・治安部隊の弾圧の停止と撤退, 逮捕者の釈放, クルド問題の民主的解決などをパッシャル・アサド政権に求める一方で, 暴力の自制とアラブ人との連帯をクルド系住民に対して呼びかけた[Majmū' al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā 2004a; 2004b; 2004c; 2004d; 2004f; 2004i; 2004j; 2004k; 2004l; 2004m; 2004n; 2004o; 2004p; 2004q; 2004s]。また事件の犠牲者を追悼するため, 3月21日のノールズを哀悼の日とすることを決定し, 祝祭の自粛, 黒い紋章の着用, 黒旗の掲揚を市民に求めるとともに, シリア国旗と大統領の写真の掲揚自粛と, クルド人の惨状に抗議し, クルド問題の解決を求める横断幕・プラカードの設置を呼びかけた[Majmū' al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā 2004e; 2004g; 2004h]

2004年6月, バアス党シリア地域指導部(al-Qiyāda al-Qutriya)がクルド民族主義政党の政治活動を禁止した際にも声明を発表し, クルド民族主義政党の活動の正統性がクルド人民の要求を代弁している点に求められるとしたうえで, 「シリアに政党法が存在しないなか……, クルド[民族主義]政党が法的許可を取得していないことは, その合法性の欠如を意味しない」との立場を示し, 公然活動の継続を宣言した[Majmū'

al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā 2004r }]

## 5. シリア民主同盟

アラビア語名:

al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Sūri

2003年10月の民主的シリアのための同盟\*第3回大会での合意に基づき、同年11月にワシントンDCで発足した政治同盟。結成にあたっては、米国在住の実業家、ファリド・ガーディリー(Farīd al-Ghādīrī)を党首とするシリア改革党(Hizb al-Iṣlāḥ al-Sūri)がイニシアチブをとった。結成当初の加盟党派は、シリア改革党、シリア・アッシリア運動(al-Ḥaraka al-Āshūriya al-Sūriya)、シリア・クルド・イェキーティー党\*、シリア・クルディスタン民主パルティー\*、シリア近代民主主義党(Hizb al-Ḥadātha wa al-Dīmuqrāṭīya li-Sūriya)など、欧米で活動する約14の組織、政党、NGO[ <http://www.reformsyria.org/Misc/SDC.htm>(2003年11月閲覧)]

2003年11月17日から18日にかけて開催された結成大会(第1回総会)において、シリア民主同盟は、「[既存の]支配者」(the ruler)、「略奪者」[=イスラーム原理主義者]」(the spoiler)に代わる「第3のオルターナティブ」(the third alternative)を自認し、バアス党政権の打倒、暫定政権の発足、民主的な政体の樹立などを主唱した[ [http://www.reformsyria.org/RPS%20Events/the\\_third\\_alternative.htm](http://www.reformsyria.org/RPS%20Events/the_third_alternative.htm)(2003年11月閲覧)]

2004年2月半ば、シリア民主同盟はレバノンの自由国民潮流(al-Tayyār al-Waṭanī al-Ḥurr)とともに米国議員11名に働きかけ、シリアに内政改革を迫る法案の作成を促した。その結果、同年6月23日、米下院国際関係委員会で同一決議第363号(2004年2月11日提出)が承認された。

同決議は、「シリア政府の国民に対する人権および市民的自由への継続的侵害への米国議会の多大なる懸念」を表明したうえで、「自由、人権尊重、市民的自由、民主的政府、法の支配を求めるシリア国民の日々の闘争」への支持と、「米大統領と国務長官による人権活動家や民主的反政府勢力への支援……の促進」を呼びかけ、「(A)シリア国民の自由回復、(B)レバノンに対するシリアの違法な占領の停止、(C)テロ支援の停止、(D)平和と安全のもとでの国際社会との共存[を可能とする]……民主的政府の発足」を要求していた[青山2005, 5-6]

こうした動きを通じて、シリア民主同盟は米国による“民主化”圧力の一端を担うかに思えた。だが2004年初めから、加盟政党 および 加盟を希望していた政党・政治組織 の間で徐々に足並みの乱れが目立つようになっていった。

2004年1月18日から19日にかけて、シリア民主同盟はブリュッセルで第2回総会を開催した。この総会は米国在住の反政府活動家を中心とする同盟が欧州に活動領域を拡大する第一歩となるはずであった。だがオブザーバーとして総会に出席した真実・公正・和解のための国民会議(al-Majlis al-Waṭanī li-l-Ḥaqīqa wa al-'Adāla wa al-Muṣālaḥa)会長のニザール・ナイユーフ(Nizār Nayyūf)が「シリア民主同盟は、シリア国内における経験や知識を欠いており、現象以外の何も検討していない」との理由でシリア民主同盟への参加・協力を拒否した[ *Akhbār al-Sharq* 2004a; al-Majlis al-Waṭanī li-l-Ḥaqīqa wa al-'Adāla wa al-Muṣālaḥa fī Sūriya 2004 ]

また2004年2月、シリア民主同盟の第1回総会と第2回総会の双方に名を連ねてきたシリア



近代民主主義党が、米国の覇権伸張に乗じて、あるいはその軍事的圧力を利用してシリアの転覆をめざすシリア改革党と対立し、同盟から離反した[ Hizb al-Hadātha wa al-Dīmuqrāṭīya li-Sūriya 2004 ]。その2カ月後の4月、このシリア近代民主主義党がシリア民主同盟とともに共同声明を発表し、シリア改革党が同盟をシリアの文化・政治・人民から乖離させ、独断的な決定を下すことで、同盟を党の利益に奉仕させようとしていると批判し、シリア改革党の除名とシリア近代民主主義党の同盟への復帰を宣言した。そしてこれ以降、シリア民主同盟は目立った活動を行なわなくなった[ *Akhbār al-Sharq* 2004b ]。

## 6. 民主的シリアのための同盟

アラビア語名：

al-Taḥāluf min ajl Sūriya Dimuqrāṭīya

2003年半ばにシリア・クルディスタン民主パルティー\*のイニシアチブによって発足した政治同盟。(1)民主主義のために活動するすべての勢力の糾合、(2)国際機関、人権団体などの支援の獲得、(3)一党制の廃止、をめざした[ al-Hizb al-Dīmuqrāṭī al-Kurdistānī-Sūriyā 2003 ]。

2003年6月16日に開催された結成大会で、シリア・クルディスタン民主パルティーのタウフィーク・ハムドゥーシュ(Tawfīq Ḥamdūsh)とフサイン・サアドゥー(Husayn Sa'dū)は、ハンズ・ブランシャイド(Hans Branscheidt、民主的イラクのための同盟[al-Taḥāluf min ajl 'Irāq Dimuqrāṭī]メンバー)とともに計画実行準備委員会(Lajna Taḥdīrīya li-Tanfīdh al-Mashrū')を結成し、活動を本格化させた。そして同年8月末の第2回大会で、シリア近代民主主義党とドイツ・クルド研究センター(Markaz al-Dirāsāt al-Kurdiya

fī Almāniyā)が加盟した[ *Akhbār al-Sharq* 2003b ; 2003c ; Bārti Dimuqrāṭi Kurdistanī Sūriyā 2003b ]。なお、シリア・クルド・イエキーティー党\*は結党大会などに参加したが、党内の事情を理由に正式な参加を辞退した[ Bārti Dimuqrāṭi Kurdistanī Sūriyā 2003a ; Hizb Yakīti al-Kurdi fī Sūriyā-Lajna Tanzīm Ūrubbā 2003 ]。

民主的シリアのための同盟は、2003年10月5日から6日にかけて、ドイツのボンで第3回大会を開き、シリア改革党が提案したシリア民主同盟計画に合意し[ al-Taḥāluf min ajl Sūriya Dimuqrāṭīya 2003 ]、翌11年半ばにシリア民主同盟\*に発展解消した。

## 結びにかえて

第II節(前号)と第III節ではシリアのクルド民族主義政党・政治組織、政治同盟を紹介したが、これらのうち、現在シリア国内外で活動している14の政党・政治組織(前号の表の⑤を参照)を、思想的潮流、政治路線、活動拠点の違いによって類型化したのが次ページの表である。

この表を見ると、以下四つの特徴 ないしは類似性 を見い出すことができる。

- (1)左派(8党・組織)と右派(6党・組織)がほぼ拮抗しているものの、第II節で個別・具体的に見たように、いずれの政党・政治組織も、その思想的潮流のいかんにかかわらず、シリアという既存の国家枠組みを是認し、活動を行なっている。
- (2)政権との対話(融和)を優先させるか、圧力(敵対)を優先させるかという戦術上の相違が見られるものの、シリア・クルディスタン民主パルティー\*を除く13の政党・政

## シリアのクルド民族主義政党・政治組織の類型

党派名	思想的潮流 <sup>a)</sup>	政治路線			主な活動拠点
		バッシャル・アサド政権への対応 <sup>b)</sup>	他のクルド民族主義政党・政治組織との関係 <sup>c)</sup>	クルド民族主義勢力以外の政党・政治組織との関係	
シリア・クルド民主党(アル・パルティー)ナスルッディーン・イブラーヒーム派	右派	融和的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
シリア・クルド民主党(アル・パルティー)ムハンマド・ナズィール・ムスタファー派	右派	融和的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
シリア・クルド左派党ハイルッディーン・ムラード派	左派	敵対的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
シリア・クルド左派党ハイルッディーン・イブラーヒーム派	左派	融和的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
クルド・シリア民主党	右派	融和的漸進主義	消極的協調	非協力的	シリア国内
シリア・クルド進歩民主党アブドゥルハミード・ダルウィーシュ派	右派	融和的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
シリア・クルド進歩民主党アズィーズ・ダーウド派	右派	融和的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
シリア・クルド人民連合党	左派	敵対的漸進主義	消極的協調	非協力的	シリア国内
シリア・クルド民主統一党(イエキーティー)	左派	敵対的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
シリア・クルド・イエキーティー党	左派	敵対的漸進主義	消極的協調	非協力的	シリア国内
シリア・クルド国民民主党	右派	融和的漸進主義	積極的協調	協力的	シリア国内
シリア・クルディスタン民主パルティー	左派	急進主義	非協調	協力的	国外(欧州)
シリア民主連合党	左派	敵対的漸進主義	消極的協調	非協力的	シリア国内
クルド・シリア民主合意	左派	敵対的漸進主義	非協調	協力的	シリア国外(イラク)
	左派 8 右派 6	融和的漸進主義 7 敵対的漸進主義 6 急進主義 1	積極的協調 8 消極的協調 4 非協調 2	協力的 10 非協力的 4	国内 12 国外 2

(注) a 「左派」はクルディスタンの解放、独立、統一をめざし、労働者・農民の利益を代弁しようとする潮流を、「右派」はクルド人の政治的・文化的自治の獲得をめざし、大地主や宗教関係者を支持基盤に持つ潮流を指す。

b 「融和的漸進主義」は民主的・平和的な手段を通じた漸進的な政治改革をめざすとともに、バッシャル・アサド政権との対話・交渉を行なう路線を、「敵対的漸進主義」は民主的・平和的な手段を通じた漸進的な政治改革をめざしつつ、デモや抗議集会などを組織し、政権に圧力をかける路線を、そして「急進主義」はバッシャル・アサド政権の打倒をめざす路線を指す。

c 「積極的協調」はシリア・クルド民主同盟、ないしはシリア・クルド民主戦線に加盟し、他のクルド民族主義政党・政治組織と共同歩調をとる路線を、「消極的協調」はこれらの政治同盟とは一線を画しつつも、他のクルド民族主義政党・政治組織と共同歩調をとる路線を、そして「非協調」は他の政党・政治組織との協力関係が希薄な路線を指す。

(出所)筆者作成。

治組織が、漸進的な改革をめざしている。

- (3)シリア・クルド民主同盟\*やシリア・クルド民主戦線\*などへの加盟・参加状況に差異が見られるものの、シリア国内に活動拠点を持つ12の政党・政治組織が、クルド民族主義勢力内での協調関係を重視している。
- (4)クルド問題の解決を最優先課題に掲げることに関心するクルド・シリア民主党\*、シリア・クルド人民連合党\*、シリア・クルド・イエキーティー党\*と、新興のシリア民主連合党\*を除く10の政党・政治組織が、他のイデオロギー・思想的潮流に属す反政府勢力との協力関係を重視している。

このような特徴(類似性)から明らかなのは、シリアのクルド民族主義政党・政治組織がイデオロギー対立や路線対立ゆえに分裂状態にあるのではない、ということである。シリア・クルド民主同盟とシリア・クルド民主戦線がともに標榜しているように、統一的な「クルド国民運動」の展開は、クルド民族主義勢力がシリアの政治改革に深く関与するうえで あるいはバッシャル・アサド政権に改革を求めるうえで 不可欠である。こうしたなか、クルド民族主義勢力にとって目下最大の課題は、過去の思想的・政治的対立の完全な清算と、指導者・活動家間の主導権争いや個人的不仲の解消であり、

この課題を克服して初めて、彼らはクルド問題の解決と権威主義・独裁の改革に向けた政治運動においてイニシアチブを発揮できるだろう。

〔補記〕2005年2月14日、レバノンでラフィーク・ハリリー(Rafiq al-Hariri)元首相が暗殺されたのを受け、シリアのバッシャール・アサド政権は、米仏を中心とする国際社会からの厳しい批判に曝され、きわめて困難な政治的舵取りを強いられるようになった。こうした政情の変化は、クルド民族主義勢力さらにはシリアの反政府勢力全体の再活性化を促し、シリア・クルド民主同盟、シリア・クルド民主戦線、シリア・クルド・イエキーティー党、シリア民主連合党、クルド・シリア民主合意が活発な反政府運動を展開する一方、2005年半ばには、シリア・クルド・アーザーディー党(Hizb Āzādī al-Kurdī fī Sūriya, シリア・クルド人民連合党とシリア・クルド左派党ハイルッディーン・ムラード派が合併して発足)とシリア・クルド・ムスタクバル潮流(Tayyār al-Mustaqbal al-Kurdī fī Sūriya)が新たに結成された。これら一連の変化、とりわけ本稿脱稿(2004年12月)後のクルド民族主義勢力の動静については、次号(第41号、2006年7月)において紹介する予定である。

〔訂正〕前号(第39号、2005年7月)の表「シリアにおける主な政党・政治組織」,②マルクス主義欄の「シリア民主社会党(al-Hizb al-Dīmuqrāṭī al-Ijtimā'ī al-Sūrī)」は、「シリア民主人民党(Hizb al-Sha'b al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī)」の誤り。

〔注1〕Ramadān(n.d.)によると、シリア・クルド民主同盟は、シリア・クルド人民連合党とシリア・クルド民主党(アル・パールティー)カマル・ダルウィーシュ派(現ナスルッディーン・イブラーヒーム派)の1982年の合意に基づいて発足した。

〔注2〕ザルダースト・ムハンマド、ファイサル・ユースフ、バッシャール・アミン(Bashshār al-Amin)が、アフマド・ディルガーム(Aḥmad Dirghām)バア

ス党シリア地域指導部出版局長兼人民諸組織局長とムハンマド・サイード・バヒーターン(Muḥammad Sa'īd Bakhītān)同民族治安局長と会見した。

〔注3〕また親政府の政党の代表とも対話を行なった。例えば、2003年6月4日、シリア民族社会党(al-Hizb al-Sūrī al-Qawmī al-Ijtimā'ī)イサム・マハーイリー('Iṣām al-Maḥāyirī)派の代表と、また、2004年1月下旬、統一と民主主義のための連合(al-Tajammu' min ajl al-Waḥda wa al-Dīmuqrāṭīya)と会見し、クルド問題解決に向けて協力を要請した。さらに2004年7月、カーミシュリー市で国民民主連合の代表団と会見し、関係強化などについて意見を交換した[*Akhbār al-Sharq* 2003a; al-Tajammu' min ajl al-Dīmuqrāṭīya wa al-Waḥda Qiyāda and al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī fī Sūriyā al-Lajna al-'Ulyā 2004]

〔注4〕会議には、アブドゥルハミード・ダルウィーシュ、ファイサル・ユースフ、ザルダースト・ムハンマドといったクルド民族主義政党の指導者の他、シリア民族社会党、シリア共産党(al-Hizb al-Shuyū'ī al-Sūrī)ユースフ・ファイサル(Yūsuf Fayṣal)派、シリア共産党ウィサール・ファルハ(Wiṣāl Farḥa)派、シリア共産主義者統一国民委員会(al-Lajna al-Waṭaniya li-Waḥda al-Shuyū'iyin al-Sūriyin), 国民民主連合、シリア・アッシリア運動などの代表が出席した。

## 【文献リスト】

### 日本語文献

青山弘之 2005.「シリアと米国 ブッシュ米政権の脅威との戦い(2003年3月～2004年8月)」『現代の中東』第38号(1月)2-18.

### 外国語文献

*Akhbār al-Sharq*(<http://www.thisissyria.net>) 2002. "Hizb Kurdī Yunazzim Nadwa fī Dimashq 'an Waḍ' al-Akrād fī Sūriya," October 2.

2003a. "Liqa' bayna Wafdayn Hizbiyayn Kurdī wa "Qawmī Sūrī" fī Dimashq," June 12.

2003b. "Hizbān Kurdīyān Yad'uwān ilā Iqāma



- “al-Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya,” June 16.
- 2003c. “al-Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya” Yu’akkid anna-hu Mujarrad Mubādara li-Tawḥīd al-Juhūd,” September 6.
- 2004a. “Ikhtitām Mu’tamar li-l-Mu’arada al-Sūriya fī Burūksil wa Nayyūf Yansaḥib min-hu wa Yuhājim-hu,” January 20.
- 2004b. ““Inqilāb” fī al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī “Yuṭīḥ” bi-Ḥizb al-Iṣlāḥ al-Sūrī,” April 12.
- Amude.net ( <http://www.amude.net> ) 2002. “Li-Awwal Marra al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī fī Sūriyā Yad’u ilā “Ṭ’awila Mustadīra” li-l-Ḥiwār ḥawla al-Mas’ala al-Kurdiya al-Sūriya fī Iṭār Ta’ziz al-Waḥda al-Waṭaniya,” November 25.
2003. “Qā’ima Kurdiya Muwaḥḥada fī al-Intikhābāt al-Qādima wa Bayān Mushtarak,” February 18.
- As’id, Shākir 2002. *al-Barlamān al-Sūrī fī Taṭawwur-hu al-Tārikhī 1919-2001*. Damascus : Dār al-Madā li-l-Thaqāfa wa al-Nashr.
- Bārtī Dīmuqrāṭī Kurdistānī Sūriyā 2003a. “Bārtī Dīmuqrāṭī Kurdistānī Sūriyā Yuqīm Nadwa fī 23/8/2003 bi-Madīna Būn al-Almāniya ḥawla “al-Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya,” August 23.
- 2003b. “Ḥawla al-Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya : Taqrīr,” August 30.
- al-Dīmuqrāṭī*( <http://kurdmerd.tripod.com> ) 2002. “al-Jabha al-Dīmuqrāṭīya al-Kurdiya Yuḥayyi Dhikrā Milād Awwal Tanzīm Siyāsī Kurdi fī Sūriyā,” No. 343( June )
- Efrin.net( <http://www.efrin.net> ) 2004. “Majmū’ al-Aḥzāb al-Kurdiya Yaḍumm 12 Ḥizban Jamī’-hā Waqqa’at ‘alā Bayān bi-Rafḍ Qarār al-Sulṭa bi-Ḥazr Nashāt-hā : Taṣḥīḥ li-mā Nashar-hu Mawqī’ Īlāf,” June 17.
- Ḥamidī, Ibrāhīm 2001. “Dimashq Tushakkik bi-Tawqīt Taḥarruk Shakhshiyāt wa Aḥzāb Kurdiya.” *al-Ḥayāt*, August 27.
- al-Ḥayāt* 2001. “Ḥizb Sūrī Kurdi Yuraḥḥib bi-Liqā’ “al-Taḥāluf” ma’a Qiyāda “al-Ba’tḥ,” August 26.
2004. “11 Ḥizban Kurdiyan Tunāshid Akrād Ūrubbā “Adam al-Mass bi-al-Rumūz al-Waṭaniya,” March 22.
- al-Ḥizb al-Dīmuqrāṭī al-Kurdistānī–Sūriyā 2003. “Da’wa li-Iqāma Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya,” May 1.
- Ḥizb al-Ḥadātha wa al-Dīmuqrāṭīya li-Sūriya 2004. “Bayān Insiḥāb Ḥizb al-Ḥadātha wa al-Dīmuqrāṭīya li-Sūriya min al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī,” February 9.
- Ḥizb Yakīti al-Kurdi fī Sūriyā–Lajna Tanzīm Ūrubbā 2003. “Fūji’-nā bi-al-Balāgh ‘an “Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya,” June 21.
- Ibrāhīm, Ibrāhīm n.d. “Akrād Sūriyā : Wujūd Fi’li wa Ḥaqīqa Tārikhiya.” Efrin.net.
- Jarīda al-Jabha* 2003. “Intikhābāt Majlis al-Sha’b li-l-Dawr al-Tashrī’i al-Thāmin,” January.
- Lajna al-Tansīq al-Waṭani li-l-Difā’ ‘an al-Ḥurriyāt al-Asāsīya wa Ḥuqūq al-Insān 2005. “Bayān bi-Ta’sīs Lajna al-Tansīq al-Waṭani li-l-Difā’ ‘an al-Ḥurriyāt al-Asāsīya wa Ḥuqūq al-Insān,” January 17.
- al-Majlis al-Waṭani li-l-Ḥaqīqa wa al-’Adāla wa al-Muṣālaḥa fī Sūriya 2004. “Tawḍīḥ,” February 15.
- Majmū’ al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā 2003. “Bayān ilā al-Jamāhīr al-Waṭaniya al-Dīmuqrāṭīya,” February 17.
- 2004a. “Bayān,” March 12.
- 2004b. “Nidā’,” March 13.
- 2004c. “Siyāda al-Ra’īs al-Duktūr Bashshār al-Asad,” March 15.
- 2004d. “Taṣrīḥ Ṣādir ‘an Ijtimā’ Qiyāda Majmū’ al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā,” March 15.
- 2004e. “Bayān bi-Munāsaba Nūrūz,” March 17.
- 2004f. “Bayān ilā al-Ra’y al-’Amm,” March 18.
- 2004g. “Ta’mīm,” March 19.
- 2004h. “Taṣrīḥ Ṣādir ‘an Ijtimā’ al-Aḥzāb al-Kurdiya,” March 19.
- 2004i. “Taṣrīḥ,” March 20.
- 2004j. “Taṣrīḥ Ṣādir ‘an Ijtimā’ al-Aḥzāb al-Kurdiya,” March 22.
- 2004k. “Bayān ilā al-Ra’y al-’Amm,” March 23.
- 2004l. “Bayān ilā al-Ra’y al-’Amm,” March 24.
- 2004m. “Taṣrīḥ,” March 25.
- 2004n. “Taṣrīḥ Majmū’ al-Aḥzāb al-Kurdiya fī Sūriyā,” March 30.
- 2004o. “Taṣrīḥ,” April 2.
- 2004p. “Taṣrīḥ,” April 9.

- 2004q. "Taṣrīḥ Majmū' al-Aḥzāb al-Kurdiyya fi Sūriyā," June.
- 2004r. "Taṣrīḥ Ṣādir 'an Ijtimā' Majmū' al-Aḥzāb al-Kurdiyya fi Sūriyā," June.
- 2004s. "Taṣrīḥ," July 29.
- Ramaḍān, Ribhān n.d. "Sha'b Mansī wa Dustūr Ghā'ib "Qirā'a fi al-Mas'ala al-Kurdiyya fi Sūriyā"." *Muqārabāt*, No. 1.
- Ṣawt al-Akrād : *Dengē Kurd* 2002a. "Fī al-Dhikrā al-Sanawīya al-Āshira li-Binā' al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdi fi Sūriyā," No. 327 ( January ) : 1, 7.
- 2002b. "al-Taḥāluf ... wa Binā' al-Khiṭāb al-Siyāsī al-Kurdi," No. 336 ( October ) : 1, 7.
- al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdi fi Sūriyā-al-Lajna al-'Ulyā 2003. "Bayān," May 31.
- al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdi fi Sūriyā-al-Majlis al-'Āmm 2003. "Bayān bi-Munāsaba Intikhābāt Majlis al-Sha'b," February 6.
- al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdi fi Sūriyā and al-Jabha al-Dīmuqrāṭīya al-Kurdiyya fi Sūriyā 2003. "Balāgh Ṣādir 'an al-Ijtimā' al-Mushtarak bayna Qiyādatay al-Jabha al-Dīmuqrāṭīya al-Kurdiyya fi Sūriyā wa al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdiyya fi Sūriyā," February 23.
- al-Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya 2003. "al-Bayān al-Khitāmī li-l-Ijtimā' al-Thālith li-l-Taḥāluf min ajl Sūriya Dīmuqrāṭīya," October 4-5.
- al-Tajammu' min ajl al-Dīmuqrāṭīya wa al-Waḥda-Qiyāda and al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdi fi Sūriyā-al-Lajna al-'Ulyā 2004. "Bayān Ṣādir 'an Ijtimā' Qiyāda al-Tajammu' min ajl al-Dīmuqrāṭīya wa al-Waḥda wa al-Lajna al-'Ulyā li-l-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdi fi Sūriyā," January 25.
- アーリー, ムフイーッディーン・シャイフ.....76
- アールージー, アブドゥッラフマーン.....62, 75
- アイヤーシュ, アブドゥルガニー.....59
- アサド, ハーフイズ.....60, 61, 64, 77
- アサド, パッシャール.....58, 61, 64, 66, 71 ; 22, 23, 26, 27
- アッシリア民主機構 シリア・アッシリア運動
- アティーユ, ウマル.....80
- アビー・ハイダル, アントゥーン.....59
- アブドゥッラフマーン・カワーキビー国民対話会議.....76
- アブドゥッラフマーン, サーミー.....64, 73
- アフマド, アフマド・ムハンマド.....59
- アフラク, ミシェル.....59
- アミン, パッシャール.....73, 80 ; 27
- アムウ, マフムード.....66, 67
- アラブ革命労働者党.....59
- アラブ社会主義者運動.....59
- アラブ社会主義バアス党.....58-60, 64, 67-73 ; 22-24, 27
- アラブ社会主義連合党.....59
- アラブ社会主義連合統一党.....59
- アラブ社会主義連合民主党.....59
- アラブ社会民主主義バアス党.....59
- アラブ人権機構.....59 ; 20
- アラブ民主連合党.....59
- アリー, ハーリド・ムハンマド.....80
- アリーカー, フアード.....66, 67, 72, 79, 80
- イーサー, ムハンマド・パーキー・シャイフ・ムハンマド.....65
- イスラーム解放党.....59
- イブラーヒーム, イブラーヒーム.....80
- イブラーヒーム, ナスルッディーン.....59, 62, 75, 79, 80 ; 21, 23, 26, 27
- イブラーヒーム, ハイルッディーン.....59, 63, 69, 80 ; 21, 26
- イブラーヒーム, フーザーン・ムハンマド・アミン.....80
- ウスマーン, ガッサーン・アブドゥルアズィーズ.....59
- ウスマーン, マルワーン.....66, 67, 79
- ウスマーン, リファト.....70
- ウマル, イスマーイル.....75, 76, 78, 80 ; 22
- オジャラーン, アブドゥッラフ.....70, 77

## 【索引(人名, 組織名)】

明朝体の数字は前号の該当ページ, ゴシック体の数字は  
今号の該当ページ。

## ア 行

アーリー, シャイフ.....62, 73

## カ 行

カーシム, アフマド・アフマド.....80

カーシム, アフマド・ムスタファー.....71

ガーディリー, ファリド.....24

- カドゥー, サーリフ.....70, 79  
 カブール, サリーム.....80  
 基本的自由・人権擁護国民調整委員会.....59, 68, 72 ;  
 20-22  
 共産主義行動党.....59, 79 ; 20  
 共同指導部.....63, 66, 75, 78, 79  
 クールド, ジャーン.....65  
 クルディスタン愛国連盟(PUK).....61, 76, 77  
 クルディスタン共産党.....63, 64  
 クルディスタン自由民主主義会議(KADEK).....64, 78  
 クルディスタン人民会議 コングラ・ゲル  
 クルディスタン前衛機構.....63, 64  
 クルディスタン民主人民党.....62, 64, 73  
 クルディスタン民主党(KDP).....61, 68, 73, 74, 76, 77  
 クルディスタン労働者党(PKK).....61, 64, 70, 77, 80  
 クルド・シリア民主合意.....59, 63-65 ; 23, 26, 27  
 クルド・シリア民主党.....59, 62, 65, 74 ; 21-23, 26  
 国籍剥奪者権利擁護委員会.....59, 79, 80 ; 20  
 国民誓約党.....59  
 国民民主連合.....59, 79 ; 20, 27  
 コングラ・ゲル.....64
- サ 行
- サーリフ, サーラール.....80  
 サーリフ, ハサン.....66, 67, 79  
 ザーザー, ヌールッディーン.....68, 73, 74  
 サアドゥー, フサイン.....65 ; 25  
 サイダー, イスマト.....63, 69, 70, 77, 80  
 サイドゥー, ハミード.....62, 74  
 ザイーム, フスニー.....78  
 サフーク, ターヒル.....68, 80  
 サブリー, ウスマーン.....68, 69, 73, 74  
 ザルキー, ムハンマド・マルワーン.....77  
 サルキス, アズィーズ.....70  
 シーシャクリー, アディーブ.....79  
 ジェラーデト・ベドゥルハーン文化会議.....59, 67  
 市民社会再生諸委員会.....59, 79, 80 ; 20  
 シャアバーン, ラシード.....80  
 シャイフムース, ムハンマド.....62, 69 ; 21  
 シャウズィー, マフムード.....66  
 ジャマール・アタースィー民主的対話会議.....59, 79 ; 20  
 自由国民潮流.....24  
 ジュムア, ムスタファー.....72, 73
- シリア・アッシリア運動.....59 ; 24, 27  
 シリア改革党.....59 ; 24, 25  
 シリア共産主義者統一国民委員会.....59 ; 27  
 シリア共産党.....59, 71, 73 ; 27  
 シリア近代民主主義党.....59 ; 24, 25  
 シリア・クルディスタン民主党.....60, 70, 72, 73  
 シリア・クルディスタン民主パルティー.....59, 63,  
 65, 67 ; 23-26  
 シリア・クルド・アーグリー運動.....63, 66  
 シリア・クルド・アーザーディー党.....27  
 シリア・クルド・イエキーティー党.....59, 63, 66, 67, 72,  
 75, 77-80 ; 20, 23-27  
 シリア・クルド革命機構.....63, 68  
 シリア・クルド国民民主党.....59, 62, 68, 70, 80 ; 21, 26  
 シリア・クルド左派党.....59, 62, 63, 68-70, 72, 74-80 ;  
 21-23, 26, 27  
 シリア・クルド社会主義党.....63, 69-71  
 シリア・クルド進歩民主党.....59, 62, 68, 70, 72, 74, 77,  
 80 ; 21-23, 26  
 シリア・クルド人民連合党.....59, 63, 66, 69, 71-73, 77-  
 80 ; 20-23, 26, 27  
 シリア・クルド統一社会主義党 シリア・クルド社会主  
 義党  
 シリア・クルド民主行動党.....62, 64, 73, 75  
 シリア・クルド民主戦線.....59, 67-69, 71, 75 ; 20-23, 26, 27  
 シリア・クルド民主党(アル・パルティー).....59, 60,  
 62, 68-69, 73-75, 77, 78 ; 21, 22, 26, 27  
 シリア・クルド民主統一党(イエキーティー).....59, 63,  
 69, 75, 76, 78-80 ; 21-23, 26  
 シリア・クルド民主同盟.....59, 65, 67, 69, 71, 72, 75, 76,  
 79, 80 ; 20-23, 26, 27  
 シリア・クルド・ムスタクパル潮流.....27  
 シリア・クルド労働党.....63, 66, 69, 72, 75, 77, 78  
 シリア・グローバリズム抵抗活動家.....79  
 シリア国民民主連合.....63, 77  
 シリア左派クルド民主党 シリア・クルド左派党  
 シリア人権委員会.....59  
 シリア人権協会.....59, 79, 80 ; 20  
 シリア人権文化クラブ.....79  
 シリア人権擁護連盟.....79  
 シリアにおけるすべてのクルド政党.....59, 67, 72, 76 ;  
 21-23  
 シリア・ブルースク運動.....63, 77

シリア民主社会党 シリア民主人民党  
 シリア民主人民党.....27  
 シリア民主的諸自由・人権擁護諸委員会.....59, 79, 80; 20  
 シリア民主同盟.....59, 65, 67; 24, 25  
 シリア民主連合党.....59, 63, 77, 80; 23, 26, 27  
 シリア民族社会党.....59; 27  
 シリア・ムスリム同胞団.....59, 73, 78  
 真実・公正・和解のための国民会議.....24  
 進歩国民戦線.....58, 59, 72  
 スイルウ, ムハンマド・ナズィール.....78

## タ行

ダーウド, アズィーズ.....59, 62, 68, 70, 71, 79, 80; 21, 26  
 ダーウド, フサイン.....73  
 ダイラキー, ズィヤード.....66  
 ダフドゥーフ, パースィール.....59  
 ダルウィーシュ, アブドゥルハミード.....59, 62, 68, 70-  
 74, 77, 79, 80; 21-23, 26, 27  
 ダルウィーシュ, カマル.....62, 73, 75, 77-79; 21, 27  
 ディーブー, ユースフ.....62, 69  
 デイルガーム, アフマド.....27  
 ドイツ・クルド研究センター.....25  
 統一クルド民主党.....63, 66, 69, 72, 75, 77, 78  
 統一社会主義者党.....59  
 統一社会民主主義党.....59  
 統一と民主主義のための連合.....59; 27  
 トゥラース, ムスタファー.....69, 71, 75, 76, 80

## ナ行

ナアサーン, アブディー.....77  
 ナイユーフ, ニザール.....24  
 ナワイラン, ハムザ.....73

## ハ行

バーキー, ジャマール・ムハンマド.....65  
 バールザーニー, ムスタファー.....74, 77  
 バアス党 アラブ社会主義バアス党  
 ハイザーニー, スィブガトツラーフ.....77  
 ハサン, ムスリム・シャイフ.....76, 80  
 バドルディーン, サラフ.....63, 69, 70, 72, 80  
 バヒーターン, ムハンマド・サイード.....27  
 ハムドゥーシュ, タウフィーク.....65; 25  
 ハリーリー, ラフィーク.....27

ハリール, アフマド.....70  
 ハンムード, アリー.....67, 80  
 ビフティヤール, ヒシャーム.....80  
 ヒムス・パレスチナ・イラク救済委員会.....79  
 ヒンナーウィー, サーミー.....78  
 ファイサル, ユースフ.....59; 27  
 ファトフツラーフ, イスマト.....63, 69  
 ファラマーン, ムハンマド・シャリーフ.....80  
 ファルハ, ウィサール.....59; 27  
 ブランシャイド, ハンズ.....25  
 プリームー, ヌーリー.....80  
 ベドゥルハーン, ジェラーデト.....59, 67, 78, 81  
 ベドゥルハーン, レウシェン・ハーヌム.....81  
 ホーイブーン.....60, 63, 78

## マ行

マハーイリー, イサーム.....59; 27  
 マフムード, ムハンマド・イーサー.....74  
 マンスーラ, ムハンマド.....80  
 ミールー, ダッハム.....62, 65, 74  
 民主的イラクのための同盟.....25  
 民主的シリアのための同盟.....65, 67; 24, 25  
 ムーサー, ハサン・ムハンマド・ユースフ.....63, 69  
 ムーサー, ムハンマド.....69, 80  
 ムーサッリー, ムンズィル.....72  
 ムスタファー, タマル.....71  
 ムスタファー, ムツラー.....77  
 ムスタファー, ムハンマド・ナズィール.....59, 62, 75; 21, 26  
 ムハンマド, アリー.....78  
 ムハンマド, ザルダースシュト.....76; 22, 27  
 ムハンマド, ムハンマド・アミーーン.....67  
 ムハンマド, ムハンマド・アリー.....76  
 ムラード, ハイルッディーン.....59, 62, 69, 76, 79; 21-  
 23, 26, 27

## ヤ, ラ, ワ行

ユースフ, アブドゥルバーキー.....66  
 ユースフ, アブドゥルバーキー・アル=.....66  
 ユースフ, ファイサル.....22, 27  
 ラマダーン, フサイン.....80  
 ラムクー, イリヤース.....62, 75

(あおやま ひろゆき / 地域研究センター)